令和元年6月定例会　議案等に対する賛否について

※表中の見方:「○」＝賛成 「×」＝反対 「―」＝当該案件採決時に議場不在 「欠」＝採決日の本会議を欠席
※議長は表決に加わらないため、「／」としています。

【市長提出議案①】

議案番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																			公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保 大憲	松井 邦人	金谷 幸則	泉 英之	竹田 勝	舎川（議長） 智也	押田 大祐	江西 照康	高田 真里	高道 秋彦	成田 光雄	横野 昭	金厚 有豊	鋪田 博紀	高田 重信	村家 博	有澤 守	高見 隆夫	柞山 数男	五本 幸正	松尾 茂	松井 桂将	佐藤 則寿	堀江かず代	岡部 享	東 篤	村石 篤	小西 直樹	赤星ゆかり	尾上 一彦	橋本 雅雄	上野 蛍	島 隆之	金井 毅俊	大島 満	木下 章広	村上 和久
議案第94号	令和元年度富山市一般会計補正予算（第1号）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第95号	令和元年度富山市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第96号	富山市市税条例等の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第97号	富山市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第98号	富山市指定通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第99号	富山市介護保険条例の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第100号	富山市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第101号	富山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第102号	富山市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第103号	富山市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第104号	富山市呉羽丘陵フットパス連絡橋整備基金条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第105号	富山市火災予防条例の一部を改正する条例制定の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第106号	工事請負契約締結の件（岩瀬中学校既存校舎解体工事）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第107号	工事請負契約締結の件（奥田北公民館改築主体工事）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第108号	工事請負契約締結の件（呉羽保育所移転改築主体工事）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第109号	工事請負契約締結の件（らいちょうバレースキー場ゴンドラリフト及び山頂駅舎撤去工事）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第110号	工事請負契約締結の件（富山港線軌道施設整備（その4）工事）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第111号	工事請負契約締結の件（富山港線軌道施設整備（その5）工事）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第112号	工事請負契約締結の件（大沢野消防署改築主体工事）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第113号	財産取得の件（富山市総合体育館第1アリーナ音響設備）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第114号	字の区域の廃止の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第115号	字の区域の変更の件	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第116号	財産取得の件（防災行政無線設備）	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議案第117号	富山市固定資産評価員の選任に関し同意を求める件	7/3	同意	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

【市長提出議案②】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川（議長）智也	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	髙見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
報告第2号	専決処分について承認を求める件（富山市市税条例等の一部を改正する条例制定の件）	7/3	承認	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
報告第3号	専決処分について承認を求める件（富山市過疎地域自立促進のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例制定の件）	7/3	承認	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
報告第4号	専決処分について承認を求める件（富山市高度利用地区における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定の件）	7/3	承認	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	○
	（反対討論要旨／日本共産党　赤星議員） 中心部の再開発ビルの保留床の固定資産税軽減を2年延長するもの。対象はTOYAMAキラリ、ユウタウン総曲輪、パティオさくら、プレミストタワーの保留床で、入っているのは銀行、シネコン、全国チェーンのホテル、立体駐車場等と、マンションでも120㎡を超える部分で広めの区画。大型商業施設誘致で1億円補助を受けた企業もあり大手企業もある。再開発ビル建設に莫大な補助金が使われているうえ至れり尽くせりではないか。 再開発ビルだけに税金優遇は不公平。多くの市民の理解を得られるとは思えない。 専決処分にも異論がある。地方税法附則の改正による権利床部分について専決はやむを得ないかもしれないが、保留床部分は富山市独自の判断で条例改廃も最終的な判断は議会。税金の集め方、まちづくり政策としても議会のチェック機能を発揮し議論し直すべき。																																								
	（賛成討論要旨／自由民主党　横野議員） 本条例の一部改正は地方税法附則の改正で、権利床に係る固定資産税の減額措置が2年延長されたことに伴い、保留床に対しても同等の措置を講じるために適用期限を延長したものだ。 高度利用地区内で耐火建築物への固定資産税の軽減措置を行い、都市の安全性や機能の更新を図り、質のよい事業の実施が目的で、保留床への税負担軽減は、投資意欲の促進やいろいろな方に居住又は入居して頂くことで税収確保に繋がる。 本市では『人・まち・自然が調和する　活力都市とやま』を実現に向け、賑わいと交流の都市空間の整備・充実を施策としており、その手法としての固定資産税の減免施策である。 中心市街地の魅力が向上し活性化することで、シビックプライドの醸成にも繋がる。 また、県外から県内への社会増減は、7年連続で増加している。 長期的視点から住民税や固定資産税といった税収の確保にも繋がるものだ。																																								

【議員提出議案】

議案番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	髙見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
議員提出議案第10号	児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議員提出議案第11号	中小企業等強靭化への支援充実を求める意見書	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
議員提出議案第12号	「労働者協同組合法案」の早期制定を求める意見書	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	○
議員提出議案第13号	消費税率10%への増税に反対する意見書	7/3	否決	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	欠	×
議員提出議案第14号	脱原発社会の実現を求める意見書	7/3	否決	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	欠	×
議員提出議案第15号	不法侵入等倫理観の欠如した問題行動が発覚した木下章広議員に対する糾弾決議	7/3	原案可決	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

【請願・陳情①】

案件番号	件　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	高田真里	高道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	高見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
令和元年分請願第3号	日米首脳会談の内容を明らかにし、日米貿易交渉の中止を求める意見書の採択を求める請願	7/3	不採択	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	欠	×
	（賛成討論要旨／日本共産党　小西議員） 昨年9月の日米首脳会談で日米貿易交渉の協議を合意した。環太平洋パートナーシップ協定（TPP）から離脱したトランプ政権が日本に2か国交渉を迫り、その圧力に安倍政権が屈したものだ。 安倍政権は「物品貿易協定」交渉としているが、「自由貿易協定（FTA）」交渉だ。 トランプ大統領は参議選後の「8月に良い発表」と発言、日本が大幅な輸入拡大を発表するものだ。 トランプ政権のねらいは兵器、農産物の輸出拡大、カジノ企業の進出だ。 食料自給率は現在38％だが、農水省は2010年に農産物を完全輸入自由化した場合、農業生産額は半減すると「悪夢の試算」を公表している。 日米貿易交渉が進めば、これが現実になり、農産物に留まらず、国民生活全般に及ぶ。 日米首脳会談の内容を明らかにし、国益を売り渡す危険がある日米貿易交渉の中止を強く求める。																																							
令和元年分請願第4号	政務活動費の議員個人への支払いを求める請願	7/3	不採択	×	×	×	×	×	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	×	欠	×
	（賛成討論要旨／日本維新の会　金井議員） 本請願の趣旨である交付の対象を、会派から議員個人が直接請求する事で、簡素で明確な請求、明確な責任になると思います。 今月16日からは、一連の政務活動費の不正受給の公判が始まります。「犯罪とは刑罰法規に列挙された、有責、違法な人の行為」であり、会派の行為ではありません。あくまでも議員個人の行為です。また議員は市民に対して、その執行が適正なものである事を、説明する責任があると思います。 富山市議会における政務活動費の交付については、抜本的な改革が必要だと考えており、その最たるものが、本請願の趣旨である「議員個人への支払い」であり、市民に対して「不正受給が行われない支給」として、簡単明瞭な交付になると考えます。よって日本維新の会は、本請願に賛成し今後も取り組んでいきます。																																							
	（反対討論要旨／自由民主党　久保議員） 現在の運用では、申請者、事務員、経理責任者、役員、代表者がチェックした上で押印している。会派に支給することで、複数の会派所属議員が政務活動の使途について運用指針との整合性や妥当性をチェックし、その成果を共有する現在の仕組みが機能している。 一方で、新しい運用指針の理念を忘れ、言葉の定義や表現を都合よく解釈したことで、会派としての見解が分かれ、議論が平行線となる事案が生じた。 このような状態で個人支給となれば、チェック機能の低下は免れず、拡大解釈が度を過ぎれば、再び政務活動費の不正が生じるリスクが高まる。 二度と政務活動費に関する不正を生じさせない、不正を許さないという意志を示すために本請願を不採択とするよう呼びかける。																																							
	（賛成討論要旨／日本共産党　赤星議員） 不正防止はもとより真面目な議員が存分に働ける、より活動しやすい議会にとの願いが根底にある。過去の不正が酷すぎたためあまりにも委縮してしまい、本当に正しい使い方をしてきた議員まで使いにくくしてはならないという議員応援の請願とのこと。会派での厳重なチェック体制を外せとは主張していない。 視察や研修会以外にもそれぞれの議員の裁量と判断で機敏に正しく様々な調査研究活動に有効活用することが市民の福祉の増進につながる。 ３月８日の住民監査請求では元議員の新たな架空請求が明らかになり、会派そのものの信頼獲得の状況ではない。 総務文教委員会で請願人本人に意見を聞く動議を出したが自民などは反対して否決した。市民参加の改革ができていない富山市議会を象徴する姿だ。 市民と直接対話しいろんな意見に耳を傾け活発に議論すべき。																																							

【請願・陳情②】

案件番号	件　　名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
				久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	髙見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
令和元年分請願第5号	議員の政治倫理に関する条例制定の請願	7/3	継続審査※	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	○	○	欠	○
	（継続審査に反対討論要旨／光　上野議員） 富山市議会のあり方は約3年前から問われ続けている。政務活動費の不正受給の前には、2016年6月定例会に市民不在とも言われた議員報酬の引き上げが可決。 市民や各報道機関から「議員や議会はどうあるべきか？」を問われた。議会改革は議会全体で進められてきた。だからこそ、現在まで倫理条例について具体的な話し合いがされていないことが、市民からは理解しがたいと請願が出された。県内では議会基本条例に政治倫理に関する条文がある議会が7、自治基本条例中が1、政治倫理条例を制定しているのが2。県内で条例がない市は富山市だけである。議会は議員1人1人の集合体であり、思想、政治観、さまざまな議員がいるからこそ、誰もが分かる「共通言語」をつくる、明文化することは大変重要であることから、請願採択を求め継続審査には反対する。																																							
	（継続審査に反対討論要旨／日本共産党　赤星議員） 富山市議会の信頼をまた失墜させる信じがたい不祥事が起きたことは誠に遺憾で許すことはできない。直ちに倫理条例の検討に入るべき。 元全国市議会議長会事務局調査広報部長の加藤幸雄氏の著書「新・市町村議会の常識『知らなかった』ではすまされない」の一節を紹介する。 「議員は『選良』であるという言葉がよく使われていた」「『選良』とは『すぐれた人を選び出すこと。またその選ばれた人。特に代議士をいう』」 「民主主義のもとで、主権者は住民であり、議員は普通の住民から選ばれる」 「市町村議会議員も立派な地方公務員である」 普通の住民から選ばれてきた私たちだからこそ「議員は選良」という理想、目標に向かい、お互いに切磋琢磨し努力を重ね意識と資質を高めよう。政治倫理の共通認識を住民との約束として明文化し高らかに宣言しようではないか。																																							

※表中の討論要旨については、各議員が発言内容を1案件あたり350字程度にまとめたものを掲載しています。（討論の掲載順は実際の発言順としています。）
※各発言の全文については、「富山市議会インターネット中継」の7月3日開催の本会議分、または、「令和元年6月富山市議会定例会会議録」（令和元年8月下旬発行予定）にて、ご確認ください。
※令和元年請願第5号については、継続審査についての議員個々の賛否を掲載しています。

【会議規則に伴う案件】※

件名	議決日	議決結果	自由民主党（20人）																				公明党（4人）				社会民主党議員会（3人）			日本共産党（2人）		会派誠政（2人）		光（2人）		日本維新の会（1人）	フォーラム38（1人）	創政改拓（1人）	自民クラブ（1人）
			久保大憲	松井邦人	金谷幸則	泉英之	竹田勝	舎川智也（議長）	押田大祐	江西照康	髙田真里	髙道秋彦	成田光雄	横野昭	金厚有豊	鋪田博紀	高田重信	村家博	有澤守	高見隆夫	柞山数男	五本幸正	松尾茂	松井桂将	佐藤則寿	堀江かず代	岡部享	東篤	村石篤	小西直樹	赤星ゆかり	尾上一彦	橋本雅雄	上野蛍	島隆之	金井毅俊	大島満	木下章広	村上和久
令和元年分請願第5号紹介議員取消の件	7/3	否決	○	○	×	×	○	／	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	欠	○

※これまで議案、請願・陳情以外で、会議規則に定められている承認等の案件については掲載しておりませんでしたが、今回は請願者にも関りがある案件のため掲載しております。